

住警器等配布モデル事業の配布活動が終了しました！

今年度実施された住警器等配布モデル事業に、松浦市鷹島町が全国20地区中の1地区に選出され、昨年9月から本年2月までに鷹島町内の高齢者世帯に住警器等を無料で配布と設置を行いました。

すでに設置してある世帯の中にも、設置から10年以上経過し、バッテリー交換が必要な警報器も見受けられたため、新しい警報器と交換して設置しました。

皆様のお宅にある住宅用火災警報器は設置から何年経過していますか？住宅用火災警報器は、いざ！という時に適切に効果を発揮させるため、設置から10年を目安に新しい警報器と交換することをお勧めします。また、新しく設置する方も、すでに設置している方も、設置の際は、就寝中に火災発見が遅れ、逃げ遅れを防ぐために寝室に設置することが火災予防条例で義務付けられています。

ご不明な点は、最寄りの消防署までお問い合わせください。今後も、住宅火災死者ゼロのために住宅用火災警報器設置率100%を目指します！

最後に、配布先のリストアップや配布設置時の立会い等には、鷹島区長会や民生委員等の皆様に御協力をいただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。

なお、住警器等配布モデル事業とは、一般社団法人全国消防機器協会が地域貢献活動として、高齢者世帯に無料で住宅用火災警報器や住宅用消火器等を配布する事業です。

○鷹島町内に配布設置した住警器等の数量

- ・住宅用火災警報器 91世帯に 100 個
- ・住宅用消火器 25 世帯
- ・防災品(エプロン等) 26世帯



